

研究課題名	維持血液透析患者における NT-pro BNP を組み込んだ全死亡および心血管イベント予測モデルの開発と検証
研究期間	実施許可日 ～2030 年 3 月 31 日
研究の対象	先行研究「血液維持透析患者における脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体 N 端フラグメント (NT-proBNP) の予後予想能に関する多施設共同研究」において取得した、2011 年 12 月から 2012 年 11 月に 14 施設(広島大学病院、県立広島病院、呉共済病院、中央内科クリニック、小田内科クリニック、尾道クリニック、井口医院、原田病院、一陽会クリニック、イーストクリニック、横川クリニック、博愛クリニック、広島ベイククリニック、クレア焼山クリニック)で週 3 回の維持透析治療を受けている症例を対象とします。
研究の目的・方法	【目的】 NT-proBNP は心負荷および体液量過剰を反映するバイオマーカーであることが報告されており、血液透析をされている方においても強力な予後因子であることが知られています。しかし、NT-proBNP を含むリスクモデルの報告については限定的であり、また従来の研究の多くは単一時点の測定値に基づく解析に基づいていることから、透析前後における変化を考慮した予後評価は十分になされていません。本研究では血液透析患者において NT-proBNP を含む臨床因子に基づく予後予測モデルを構築すること、また NT-proBNP の透析前後変化が予後予測に追加的価値を有するかを検証します。 【方法】 広島大学が実施する上記研究において、先行研究である「血液維持透析患者における脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体 N 端フラグメント (NT-proBNP) の予後予想能に関する多施設共同研究」の研究データを二次利用し統計的に分析します。
研究に用いる試料・情報の種類	研究に用いるデータは、年齢、性別、バスキュラーアクセスの種類、透析導入となった原疾患（腎硬化症、糖尿病関連腎臓病、慢性糸球体腎炎）、Body mass index、血液検査(白血球、ヘモグロビン、アルブミン、尿素窒素、Cre、Na、K、補正 Ca 値、IP、CRP など)、レントゲンによる心胸郭比、心臓超音波検査による左室肥大および駆出率、併存疾患及び既往歴（高血圧、2 型糖尿病、脂質異常症、冠動脈疾患、脳卒中）、使用薬剤（RAS 阻害薬、 β 遮断薬、抗血小板薬、抗凝固薬、HIF-PH 阻害薬、ESA 製剤）です。
利用または提供を開始する予定日	2026 年 7 月 16 日
個人情報の保護	本研究で使用する先行研究の研究データには特定の個人を識別できる情報は含まれておりません。

外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	研究責任者 広島大学病院 腎臓内科 教授 正木 崇生
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、先行研究の情報を確認し研究対象から除外いたしますので、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。 広島大学病院 腎臓内科 研究担当者： 正木 崇生 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-1506 呉共済病院 腎臓内科 担当：川岡 孝一郎 〒737-8505 広島県呉市西中央 2-3-28 電話番号：0823-22-2111（代）